



～ご卒業おめでとうございます～



日 方 川

大樹高校PTAだより

第 133 号

令和5年3月1日発行

発行人 黒澤 和弘

編集人 播間 淑晃

木村 由美

豊田 雅人



卒業を迎えて

3A 有沙人

齋藤

新しい環境に期待と不安で胸を踊らせた日から今日に至るまでの三年間は、実にあつという間です。そんな中でも、お互いを理解し合い日々の学校生活に楽しみを探したり、それぞれの道のために努力を積み重ねたりと一人ひとりがたくさん思い出を残すことができました。

この三年間でできた思い出や、先生方、親への感謝を忘れず、これからの人生の糧にして前に進みます。三年間ありがとうございました。



三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。そして、保護者の皆様におかれましては、この日を御祝い申し上げます。初担任としてスタートを切った三年前、一年A組の教室には、着慣れない制服を着て、不安な表情の中にも未来への希望を感じている生徒たちの姿がありました。新型コロナウイルス感染症と共に始まった高校生活。すべてが計画通りにいかず、様々なことが変更され、様々なことが思い通りになりませんでした。朝のSIRの最後には定期的に感染症対策の話。そんな学校生活の中、生徒たちはその場その場の状況に応じて、柔軟に適応し遅く行動していました。体育大会では、常に上を目指す想いが非常に強く、球技に対する身のこなしは素晴らしいものがあり、さらに実力も備わっていました。一年生の時から戦いへの狙いは点数獲得、求めるものは勝利その一本でした。



卒業式を迎えるにあたって

3A担任 佐々木 美保

上位層に対しても飄々とした表情でねじ込んでいました。その勝ち気は、これからの人生にも活かされていきます。学校祭ではそれぞれの良さを持ち寄って、できることを地道にコツコツと行っていました。各学年での学校祭の反省を活かしながら取り組んだ最後の三年生の学校祭は完成版でした。一人ひとりの良さが前面に演出されたステージパフォーマンス。何よりも保護者の方々に観て頂けたことは本当に嬉しかったです。少しずつ成長していく姿はいつも頼もしく、頼りがいがある存在となっていました。今まさに、それぞれの道を切り拓くために生徒たちが一歩一歩歩んでいます。無垢な気持ちを忘れずにこれからもたくさんさんの経験を、人との出会いを大切に様々なことを乗り越えながら大樹町の名前に同様に大きな木に成長していくことを願っています。

最後に、学年の取り組みに御理解と御協力を頂きましたことに深く感謝し、心より御礼を申し上げます。

